



環境経営レポート

(2023年5月1日～2024年4月30日)

2023

2024年9月30日発行

尾中税理士法人



目次

1. 会社概要
2. 経営方針・環境経営方針
3. 実施体制
4. 主な環境負荷の実績
5. 環境目標及び実績
6. 環境経営計画及び評価
7. 環境関連法規等の順守評価
8. 活動取組の歴史
9. 避難訓練
10. 評価

1.会社概要

事業所名	尾中税理士法人	
代表者名	代表社員・税理士 尾中 寿	
所在地	本社 東大阪市下小阪2-14-9YANO八戸ノ里駅前ビル3F(2011.9.1移転) 天神橋オフィス 大阪市北区天神橋2丁目北1番23号 丸丹ビル402号	
電話番号	06-6723-9077	
FAX番号	06-6723-7889	
設 立	2019年5月法人化(1990年2月に尾中税務会計事務所設立)	
資本金	500万円	
事業内容	税務・会計サービスの提供(税理士業、業績管理、経営計画策定)	
事業規模	売上高	120百万円
	関与先数	約120社
	従業員数	15名、2024年3月31日時点
事業年度	5月～4月(2021年度より適用)	
休日	土・日・祝、年末年始、お盆(ただし12～3月は土曜も営業)	
環境管理責任者	川添 玲	
事務局	川添 玲、傳 智子、玄角 純子	
HP	https://onakakaikei.net	

事務所間取り



述べ面積:198㎡

所有機器類

電話機	9台
照明	49本
エアコン	5台
オーディオ機器	1台
扇風機	4台
卓上扇風機	11台
電気ヒーター	3台
掃除機	2台
電子レンジ	2台
湯沸しポット	1台
サーバー	1台
ノートパソコン	14台
デジタル複合機	1台
白黒プリンター	1台
カラープリンター	1台
サーキュレーター	2台
ハイブリットファン	3台
空気清浄機	4台
モニター	12台

認証登録対象範囲

サイト	本社（天神橋オフィスは2026年取得予定）
活動	税務・会計サービスの提供（税理士業、業績管理、経営計画策定）

本社オフィス

事務所内部①

画面左の額縁には、「環境方針」とISOの品質方針が飾られています



事務所内部2



会議室



応接室



外観①



外観②



事務所入り口
所内外では植物を育てて
います

天神橋オフィス

事務所内部

窓が大きく日当たりが良いため、日中は電気をつける必要がないほど室内が明るいです。



会議室



外観①



外観②



外観③

事務所内部③



2. 経営方針・環境方針

経営理念

未来を一緒に考える

～Think The Future～

1. お客様の未来

私たちは、「超一流の品質」と「まごころ」を通じて、お客様と感動を共有し、価値ある未来を創造します。

2. 社会の未来

私たちは、「誠実な行動」と「笑顔」を通じて、社会との信頼関係を築き、輝く未来に貢献します。

3. 会社・社員の未来

私たちは、「おしめない協力」と「情熱」を通じて、自己成長を続け、豊かで楽しい未来を実現します。

環境経営方針

私達は、ますます深刻化する環境問題に対応すべく、パリ協定の実現やSDGsの17の目標達成を念頭に、社員一丸となって自主的・積極的に、環境経営に取り組みます。

1 具体的に次のことに取り組みます。

①電力と自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減



②コピー用紙等使用資源の省資源、廃棄物の3R（抑制、再使用、再生利用）の推進



③水資源の節水



④組織内の5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の推進



⑤事務所周辺の美化

⑥業務の付加価値向上を目指して、社会や顧客の課題解決に向けた活動の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。



2 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

3 この環境経営方針を弊社で働く全ての従業員に周知します。

4 環境関連法規制や弊社が約束したことを順守します。



制定日：2007年11月13日

改定日：2021年8月31日

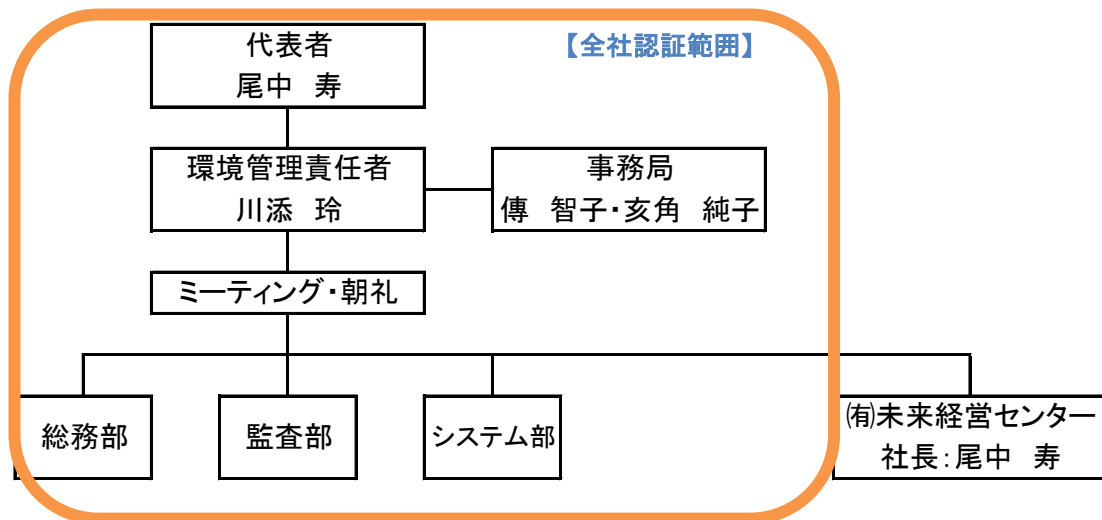
尾中税理士法人

代表社員・税理士

尾中 寿

3、実施体制

更新日:2024.9.15



役割・責任・権限

役割・責任・権限	
代表者(代表社員)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
ミーティング・朝礼	・活動計画の報告 ・評価・是正処置の協議・決定
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4 主な環境負荷の実績

主な環境負荷の実績					
項 目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	備考
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	8,282	7,538	6,370	・産業廃棄物は発生しておりません ・水使用量は共益費に含まれるため把握できません
一般廃棄物排出量	kg	455	468	468	

5 環境目標及び実績

年度		2022 年度	2023 年度		2024 年度	2025 年度
項目		(基準値)	(目標) 基準年度比	(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電使用量力の削減	kWh	14,372	14,372	11,274	14,372	14,372
			100.0%	78.4%	100.0%	100.0%
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	4,470	4,470	3,506	4,470	4,470
			100.0%	78.4%	100.0%	100.0%
自動車燃料の二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,496	2,446	1,234	2,446	2,397
			98.0%	49.5%	98.0%	98.0%
一般廃棄物の削減	Kg	468	468	441	463	463
			100.0%	94.3%	99.0%	99.0%
コピー用紙の削減	枚	136,000	130,000	152,000	130,000	130,000
			95.6%	111.8%	95.6%	95.6%
水道水の削減	m ³		節水の呼びかけ			
業務の付加価値向上			社会や顧客の課題解決に向けた取組の推進			

※水道水の削減について …数値の把握ができないため、数値目標は設定せず、節水運動に取り組む

※目標値について …減少させるのは難しくなってきたので現状維持を目標にする

※電力の二酸化炭素排出係数… 0.311 kg-CO₂/kWh

6 環境経営計画及びその評価

作成日：2024年9月15日

重点課題 ○できた ×できなかった

2023年5月～2024年4月

取組項目	評価	取組内容と次年度の計画
電力による二酸化炭素排出量の削減		
- 空調温度は夏25℃以上、冬23℃以下で調節する - 空気の入替をこまめに行う(感染予防対策) - 空調機等の定期的な清掃 - 月初3日間はノー残業デーで電源を早く切る - サーキュレーターと温度計の活用	○ ○ ○ ○ ○	温度計とサーキュレーターを導入し、室内温度を安定的に適温管理する。空調機器の掃除を行い、効率的な稼働を維持する。
自動車燃料等による二酸化炭素排出量の削減		
- エコドライブの励行 - 公共交通機関・自転車の活用 - ガソリン使用量の把握 - 新しい車を優先的に利用する	○ ○ ○ ○	新しい車を優先的に利用することでエネルギーの効率化を図る。電車・自転車の利用を進めることで健康経営にもつなげる
一般廃棄物の削減		
- コピー機・プリンタのトナーを回収に出す - 物品購入時に詰替可能なものを優先的に購入する - 再利用できる資源は古紙回収に出す - メモ用紙のリサイクル - 関与先への紙の帳表を削減する	○ ○ ○ ○ ×	一般廃棄物の重量を前年度と比較し評価する。管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
コピー用紙		
★会議資料等のペーパーレス化 - メールの活用 - 使用済み用紙をできる範囲で再利用 - 印刷前にプレビュー機能で確認しミスコピーを防止	○ ○ ○ ○	コピー用紙の使用量を前年度と比較し評価する。管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
節水		
- 節水シールの貼り付けとポスター掲示 - 帰る前に水が出ていないか確認してチェックする	○ ○	帰社時チェックリストに水道確認を含め、節水シールを貼付したことで意識改革に繋がった。
社会貢献		
- 地域の清掃活動を実施 - 環境情報の提供 - 中小企業強靱化計画認定の推進	○ △ △	地域貢献を常に意識し定期的な地域貢献活動に取り組む。
業務の付加価値向上		
- 健康経営の実践で、毎朝体操をする - 社内のSDGsの活用でラベリング強化 - 補助金情報の収集と提案 - 健康経営の推進	○ △ △ ○	SDGsの活動を意識して行動する。環境問題とサービスの提供を結ぶ方法を考える。

7 環境関連法規制等の順守状況

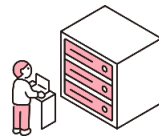
当事務所に関わる主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫、パソコン
廃棄物処理法	一般廃棄物(紙・段ボール等)
グリーン購入法	事務用品、プリンター複合機
顧客要求事項	顧問先でのルール

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

8 SDGsの歴史(2010年～2016年)

2010年主な活動	
当社顧問先を対象にしたエコアクション取得導入セミナーを開催・・・2社3名様参加	
2011年主な活動	
事務所利用車5台すべてに『エコドライブ中』のステッカーを貼りアピール	
2012年主な活動	
- 事務所の[環境方針]を目立つ位置に掲げる - 電気のスイッチ横に「節電!」、コピー機には「裏紙利用!」、水道に「節水!」のステッカーを貼る - 事務所使用車のガソリン使用量の把握	    
2013年主な活動	
- 自動車燃料の削減・環境負荷低減策の一環として電気自転車を導入 - 電力の削減の一環として、3月に事務所の窓にカーテンを取り付ける	 
2014年主な活動	
- 事務所の社用車のうち1台をエコドライブ機能搭載車に入れ替えました - グリーン化プログラムの説明会を開催・・・3名様参加	   
2015年主な活動	
省エネ設計・エコマーク対応品のカラープリンターとコピー機に入替	 
2016年主な活動	
- 電子ファイリングルールの徹底 5Sチェックシートの導入	  
来客室との仕切り壁に「整理・整頓・清潔」の掲示物を貼って、職員に意識付け	

8 SDGsの歴史(2017年～2018年)

2017年主な活動				
・ ゴミの削減のため月に一回古紙回収				
・ 電力プランの見直しのご提案				
・ ecoクリップの対外発信				
・ なにわエコ会議CO ₂ 削減コンペ応募・・・「 チャレンジ賞 」受賞				
・ 第21回環境コミュニケーション大賞応募・・・入賞しませんでした				
2018年主な活動				
・ 水銀廃棄物の法規改正についての情報発信				
・ 顧問先へ電力プランの見直しのご提案				
・ サーキュレーターを導入				
・ なにわエコ会議CO ₂ 削減コンペ授賞式に参加				
・ 大阪府中小企業家同友会エコフェスタに応募・・・「 ポピュラー賞 」受賞				
・ BCP策定に向けて「災害時対応手順書」を作成				
・ エコアクション21 10年継続事業者表彰				

8 SDGsの歴史(2019年～2020年)

2019年主な活動		
・ エアコンを省エネ対応のものに新調		 
・ ハイブリットファンを取り付け		
・ 環境経営方針を変更・・・自社の取組とSDGsを関連		
・ エコバッグの使用を推進		 
・ なにわエコ会議CO2削減・プラスチックごみ削減コンペに応募・・・「優良賞」受賞		
・ 第23回環境コミュニケーション大賞に応募・・・入賞しませんでした		
・ 大阪府中小企業家同友会エコフェスタに応募・・・入賞しませんでした		
・ 事業継続力強化計画策定について、資料を作成		
2020年主な活動		
・ 社員にSDGsのバッジを配布		
・ 会議用テレビモニターの購入		
・ 電動自転車を1台追加購入		
・ COOL CHOICEに賛同登録		  

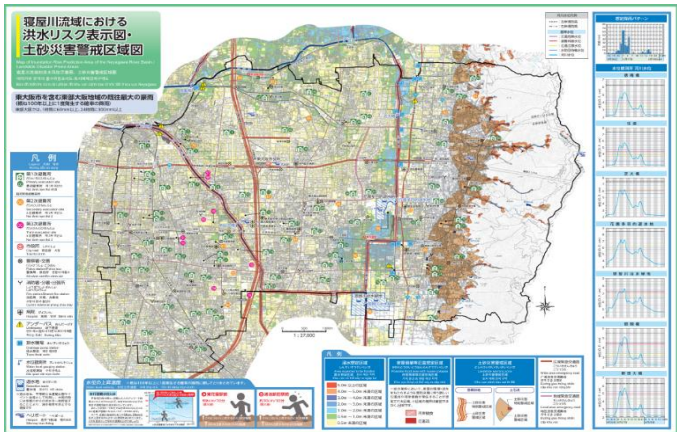
8 SDGsの歴史(2021年～2022年)

2021年主な活動		
・ エコカー・空気清浄機2台・サーキュレーターなど購入		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任
・ カラープリンター購入	COOL CHOICE	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に 適応する
・ SDGsシール作成(社内に貼る)		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任
・ 野良猫への募金箱を設置		11 住み続けられる まちづくりを 16 平等と包摂を すべての人に
・ 東大阪市の環境課からの聞き取り協力		
・ 同友会の受賞		17 パートナリシップで 目標を達成しよう
・ エコアクション21 オブザイヤー2021 応募		17 パートナリシップで 目標を達成しよう
・ SDG'sセミナー参加		
・ 証憑保存のサービス推進		8 働きがいも 経済成長も 9 産業と資源循環の 革新をつくろう
2022年主な活動		
・ 電動自転車・液晶ディスプレイ購入		12 つくる責任 つかう責任 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
・ 事務所内リフォーム		12 つくる責任 つかう責任
・ 朝礼時のストレッチを始める		3 すべての人に 健康と福祉を
・ 所内電灯を蛍光灯からLEDへ		
・ 社員一名入社		
・ 健康経営優良法人の認定を受ける		3 すべての人に 健康と福祉を
・ 大坂スマートエネルギーセンターの情報発信を行う		

8 SDGsの歴史(2023年)

2023年主な活動	
・一名がパートから社員になる	   
・コピー機を買い替える	
・自動車を買替える	
・ドキュワークスを導入(所内のDX化、紙の利用削減につなげる)	 
・ロボホン購入	
・天神橋オフィス開業、社員一名増加	  
・健康経営優良法人を更新	

9 緊急事態対応避難訓練(環境上の緊急事態への準備及び対応)

概 要	
実施日	2023年6月4日
実施場所	事務所内
緊急事態の想定	地震・洪水
実施内容	通報訓練、避難訓練
参加者	所長他全職員
評 価 (手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし)	
・ 昨年は火災を想定した避難訓練を実施したが、今年は日本国内で災害が増加していることから、国や市が提供しているハザードマップを使って事務所周辺の想定被害区域や避難場所の確認を行った。 ・ 事務所周辺の想定被害だけでなく、それぞれの従業員の自宅周辺の情報も確認することができた。 ・ 地図などの資料を使うことで、より現実的な情報提供ができ、従業員も積極的に質問するなど良い機会となった。	
実 施 状 況 の 様 子	
会議室のモニターを使ってハザードマップの説明を行った。 〈参考資料〉 ・ 大阪府域の被害想定について(人的被害・建物被害) 市区町村別表 (file:///C:/Users/U042/Desktop/02zinteki_tatemono_shichouson.pdf) 大阪府HPより引用 ・ 寝屋川流域における洪水リスク表示図・土砂災害警戒区域図 東大阪市HPより引用	
	
見直す点と課題	
・ 消防署の方と一緒に避難訓練できないか検討する ・ 来年は指示をして行動から考えて行動にもチャレンジしたい ・ 来年は安否確認の手順を確認したい ・ 来年は避難用滑り台の実用性も確認したい	

10 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年9月15日

前回の指示への取組結果	
前回の指示	・ISOとのリンク ・社員全体への意識の浸透
	・SDGsを意識した経営(コスト・イメージ)に関わる取組
取組結果	
	エコについては、当事務所ではすべきことはあまりないと思います。ISOとの関係性
	SDGsを意識した経営は、課題を残した状態です。
情報と見直し・指示	

情報	見直し・指示	変更
自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等)	環境経営方針	なし
コロナの蔓延により、又夏の猛暑により、電気代、CO2について増加傾向にある。 ロシア、ウクライナの戦争の影響もある。	表現の変更はあるが、内容の変更はなし	
環境経営目標・経営計画の達成状況	環境経営目標・経営計画	あり
結果は環境経営計画書で説明の通り。社員個々の自覚が重要。	実績踏まえて環境経営目標と計画を策定すること	
その他	実施体制他	なし
	変更なし	

今回の評価結果と今後の経営視点
総括として、近年マンネリ化しており資料の作成と月次の結果検証で新しい取り組みが
なされておられません。従来、担当者に伝達している外部であるクライアント様へ啓蒙すること
が望まれます。
